

## 質 問 回 答 書

2020年8月7日

「(案件名)ウズベキスタン国ナボイ火力発電所近代化事業(フェーズ3)協力準備調査(QCBS)」  
(公示日:2020年7月22日/公示番号:20a00284)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第2章特記仕様書案、5.実施方針及び留意事項、(8)ウズベキスタン国内F/Sとの整合性(ページ11)	ウズベキスタン国内F/S等の資料は、JICA殿からの公式依頼に基づき貸与して頂けるという理解でよいのでしょうか。	ご理解のとおりです。
2	第2章特記仕様書案、5.実施方針及び留意事項、(9)JICAミッションへの同行(ページ12)	JICA ミッション(ファクトファインディング(F/F)、アプレイザル)への同行とありますが、いつごろを想定されていますでしょうか。	COVID-19の拡散・対策状況から渡航可能となる時期にもよりますが、現時点では本年11-12月を想定してあります。
3	第2章特記仕様書案、6.調査内容、(15)イ)調達方法 a)ガスタービン・コンバインドサイクル発電設備(ページ14)	発電設備の調達方法のみ記載がありますが、(念のための確認ですが)第2章項目2(3)事業概要にあるイ)～オ)(ページ10)のコンポーネントは調達方法検討の対象外ということでしょうか。	ご理解のとおり、対象外となります。
4	第2章特記仕様書案、7.成果品等、(1)成果品(ページ18)	報告書作成費でロシア語訳が定額計上することとなっていますが、成果品には英文と和文の作成・提出のみとなっています。ロシア語訳の報告書は必要あるのかないのかご教示願います。またロシア語資料入手時の解読に必要なロシア語翻訳は、この報告書作成費の中のロシア語訳の金額の中に含まれていると考えてよいでしょうか。	ロシア語報告書の提出は必要ありません。報告書作成費には、ウズベキスタン側提供資料はじめロシア語資料の和訳に関するものを想定しています。

5	第2章特記仕様書案、2.事業の概要、(3) 事業概要 エ)ガスパイプライン(ページ10)	ガスパイプライン(ナボイ3号機及び4号機への引き込み部分)とありますが、取り合い点(ガスステーション)とルートについての資料を、プロポーザル作成の参考資料として提供いただくことはできませんでしょうか。	同資料は現時点で開示困難です。
6	第2章特記仕様書案、6.調査内容、(17)イ)調達方法 (B)ナボイ火力発電所を含む国内の火力発電所の運転維持管理の方針確認(ページ15)	「国内の火力発電所」とは、国内の各火力発電所の運転維持管理の方針をそれぞれ確認するということでしょうか。それともウ国の火力発電所個別ではなく全体を包含した1つの運転維持管理の方針を確認するということでしょうか。	ウズベキスタン国内の火力発電所全体を包含した方針を意図しております。
7	P22 (3)定額見積について	定額計上で 1) 現地再委託費(再委託費):23,000千円 ➢ 地形測量・地質件調査 16,000千円 ➢ 環境社会配慮 8,000千円 と記載されており、内訳と合計が 1,000千円合いません。現地再委託費の定額計上金額をご教示ください。	ご指摘ありがとうございます。以下のとおり訂正します。 定額計上で 2) 現地再委託費(再委託費):24,000千円 ➢ 地形測量・地質条件調査 16,000千円 ➢ 環境社会配慮 8,000千円

以上